

NST(栄養サポートチーム)

NST専従 管理栄養士 戸塚智恵子

NSTとは

NST(エヌ・エス・ティー)とは、Nutrition Support Teamの頭文字をとった略称で、日本語では「栄養サポートチーム」となります。NSTは、医師、看護職、薬剤師、管理栄養士をはじめ、歯科医師、臨床検査技師、言語聴覚士、歯科衛生士、事務職など多職種で構成される医療チームで、1970年アメリカのシカゴで誕生し、その後、全米、欧米諸国へと伝播して、日本では1998年以降に全国で設立の機運が高まり、現在では1,000を超える医療施設で稼働しています。当院のNSTは2006年4月より活動を開始し、今日まで約1,500人の患者様に栄養療法を実施してきました。

今年度より診療報酬にNST加算が新設され、栄養療法の重要性が認められて、新たにNST専任チームが結成されました。専任チームのメンバーは、厚生労働省から提示された所定の研修修了者で構成されています。

活動内容

栄養状態の改善が必要な患者様を対象に、週1回カンファレンスや回診を行い、栄養評価を実施して、適切な栄養療法を主治医に推奨しています。また、勉強会などを開催して、スタッフに適正な栄養療法を啓発しています。

栄養管理はなぜ必要？

栄養管理はすべての治療法の基盤といえます。栄養状態が良好であれば、治療が円滑に進み、早期退院につながりますが、栄養状態が不良である場合は、感染症にかかりやすい、傷が治りにくい、床ずれができやすいなど、問題が生じる可能性があるからです。

栄養状態不良とは？

やせ過ぎや肥満は、栄養不良の目安となります。特に、短期間に急速な体重変化が見られる場合は、栄養不良である可能性が高くなります。また、血液検査項目で、アルブミン(ALB)、総たんぱく(TP)、ヘモグロビン(Hb)、総コレステロール(T-CHO)、中性脂肪(TRG)などに異常が見られるような場合も栄養不良の可能性があります。



食事の内容や量は、栄養状態に大きく影響します。
バランスのよい食事を適量摂ることで、良好な栄養状態を保ちましょう！



*栄養や食事について、ご質問などございましたら、お気軽にお問い合わせください。